

TD 勉強会 号外

US 航空、DL 航空買収断念

US 航空は、1 月 31 日、DL 航空買収を断念した。

DL の債権者委員会は、US 航空による DL の帳簿閲覧 (due diligence) を許可しなかった。これにより、長らく待ち望まれていた米メジャー航空会社間のコンソリデーション協議は、当面は遅れる事となるだろう。

US の DL 買収オファーは、NW, UA, CO を含むメジャーの合併協議を誘発していた。

この買収オファーでは、司法省の反競争法審査の行方が注目されていた。先週、上院商務委員会は、米メジャー航空会社間の M&A が、公衆の利便にどの様に影響するかについての公聴会を開催した。この公聴会では、出席した多くの議員から、合併による路線の縮小と運賃値上げが懸念された。

US は、DL のバリューを \$10bn (1 兆 2,000 億円) と見積もって、現金 \$5bn、US 株 8,950 万株による敵対的買収を計画していた。この買収価格は、当初のオファーよりも +2bn 値上げされていた。

US の撤退により、DL は、単独再建案による 4 月の Chapter-11 離脱に邁進する。

1月30日(火)、DLは、Chapter-11 離脱に必要となる \$2.5bn (3,000 億円) のファイナンス・パッケージを、銀行団コンソーシアムから獲得する事に成功した。

US 株は、5.4%値上げし、1株 \$55.98 を付けた。Citigroup, Morgan Stanley が US 買収ビッドを支援していた。

(以上 FT.com, 1/31/2007)



(以上)